

## 健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

## 国民健康保険30歳代健康診査

運動

食

団地まるごと

その他

## 事業概要

特定健康診査は40歳からの受診であるが30歳代にも健診希望者はいる。30歳代には人間ドックとして健診の機会を提供してきたが、軽費の自己負担額で受診でき特定健康診査受診に継続できるよう平成26年度より30歳代健康診査を開始した。

## 事業内容(参加者数・予算等)

&lt;平成26年度&gt;

- 対象者:平成27年度3月末で30歳以上～40歳未満の方
- 実施期間:平成26年7月1日～平成27年2月28日
- 実施内容
  - ・町内の指定医療機関で行う個別方式
  - ・検査内容:特定健診基本項目、心電図、貧血検査、血清クレアチニン、尿酸  
尿潜血
  - ・申込制 定員あり
  - ・自己負担 1000円
  - ・広報で周知
  - ・健診結果によりに電話、面接等で保健指導を行う
- 予算 約24万円

## 事業効果

- 申込は定員に達し締め切った  
健診受診は、実施期間中であり申込者の40%程度(11月現在)
- 健診結果は、受診者数の半数が「要指導」又は「要医療」だった。
- 若い世代からの健診により、健康の意識向上が期待できる。また、疾病の早期発見・生活習慣病予防が期待でき、医療費の削減につながる。
- 40歳からの特定健診を促すことができる
- 人間ドックより自己負担が少ないので受診者の経済的負担を軽減できる。

## その他

- 定員枠を拡大する。